

様式第2号（第10条関係）

会議結果のお知らせ

1. 開催した会議の名称 平成27年度第1回鶴見地域振興審議会
2. 開催日時 平成27年9月8日（火） 午前10時00分～午後0時10分
3. 開催場所 鶴見振興局2階応接室

4. 出席者

（地域振興審議会委員）

会長 多田 茂 副会長 染矢正直
委員 岡部正張 委員 広津留由紀子 委員 大家 知子
委員 御手洗 豊次 委員 土師 辰英 委員 浜野 洋子
委員 山崎 隆之

委員10名中 9名出席

（鶴見振興局）

局長 安部 和生 総括主幹 坂本光裕 計2名

5. 公開、非公開の別 公開
6. 傍聴人数 0名
7. 議題及び結果

- （1）鶴見地域振興審議会委員への委嘱状交付及び役員選出
- （2）平成27年度佐伯市活性化チャレンジ事業2次募集審査について
- （3）「佐伯市人口シュミレーション案」及び「佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略たたき台」について、地域振興の観点からの意見
- （4）その他

8. 審議の内容

- （1）鶴見地域振興審議会委員への委嘱状交付及び役員選出

市長代理振興局長 安部和生から委員を代表して多田 茂委員に委嘱状を交付した。

その後、推薦により会長が多田 茂委員、副会長に染矢正直委員が選出された。

(2) 平成27年度佐伯市活性化チャレンジ事業2次募集審査について

審査員5名選出については、応募事業による地域性や経験などを考慮し、事務局にて選出した。

審査員 振興局長 安部和生・委員 染矢正直・委員 岡部正張
委員 大家知子・委員 土師辰英 以上5名

「公開プレゼンテーション」

1番「沖1市民ファーマーズチャレンジ」（沖1市民ファーマーズ）が、事業説明（5分）、質疑応答（5分）を行い、続いて、「外出の少ない高齢者に元気になってもらう活動」（プラス1）のプレゼンテーションを行った。

○プレゼンテーション抄録

*以下は、プレゼンテーションの質疑応答の抄録であり、実際の発言と言い回しが異なる部分がありますので、ご了承下さい。

1 沖1市民ファーマーズチャレンジ事業（沖1市民ファーマーズ：説明者2名）

〈説明内容〉

説明者1 地域で住んでいて良かったという地区を目指したいという目標で区長をしました。お互いの絆を大切にしながら、とにかく、参画するという事です。共生共助を核にして、区長をしてきました。

今回の事業では、新鮮な野菜を作って食べよう。それが、自分たちの心身を豊かにするのではないかということです。今回の農場は地区の中心部にあります。（地図を広げながら位置の説明）現状は藪になっていて耕作放棄地です。その解消と合わせて市民農園を作ろうということです。4、5年の長期計画で取り組みます。地域の方で果樹、野菜を作って観月祭で食べたり、地区の高齢者に配ったりします。

主な目的は、地域で作って、地域で食するという事で販売が目的ではありません。

中学校、小学校も近くにあるので、これまでも子供たちに果樹農業体験をさせてきましたが、今度は野菜作りの体験もさせたいと考えています。事業計画や予算などについて説明します。

説明者2 場所は説明したとおりです。広さは、2,000平米(700坪)あります。広いので、1/3は果樹を植え、1/3はリタイアしたような人が、野菜などを植え、1/3は親子などで楽しめる農園にしたいと考えています。指導者は区長さんや地松浦の方に講習会をしてもらいます。出来上がったら収穫祭、朝市等も計画したいと考えています。

土地は個人所有ですが、10年以上の貸借契約をしています。1年目は機材を揃え開墾します。来年ぐらいから軌道に乗せたいと思っています。そのような経費を計上しました。よろしくお願いします。

〈質疑応答〉

委員：構成員は沖1区の方のみを考えているのですか？会費が規約と予算書で違いますか？どうして？野菜の販売会は地区内のみで考えているのですか？

説明者：構成は地区民中心に考えていますが、繋がりを考えて考慮したい。会費は会議を開催して変更したいと思います。販売会はオープンで多くの方を対象にしたいと思います。

委員：旅費がありますが、どういうことに使うのですか。

説明者：種や苗を買いに行くとか、講習会に行くとかです。

委員：会費について、会員の了解は取っているのですか。

説明者：まだです。会費はまだかたまっていません。

委員：かなり広い土地ですが、鳥獣被害対策は考えていますか

委員：網を張ったり、防護柵を考えています。カラスにはナイロンてぐすを考えています。

(終了)

2 外出の少ない高齢者に元気になってもらう活動

(プラス1：説明者1名)

〈説明内容〉

私たちは、2つの事業にチャレンジしようと申し込みました。元気な高齢者が自分たちのために、自分たちで行うサロン。この対象は沖松浦の高齢者で、現在は中心部にある公民館でやっていますが、6区とか1,2区等の離れた地区の方の参加が少ないので、1区と6区の公民館でサロンをします。閉じこもりがちな高齢者に声をかけて、誘って一人でも多くの人に参加をしてもらって、カラオケやゲーム、体操などで楽しんでもらいます。将来的には地区を広げていきたいと計画しています。

2つ目はカラオケですが、現在、カラオケ多くの方が楽しんでいます。発表の場所が無いので、それを提供し、そこでは、バイキング方式の食事を提供して、長い時間を過ごしてもらいます。一度、試験的に既に実施してみました。ものすごい料理が出

てきて皆がびっくりしました。これがきっかけです。参加者に1,000円程度いただいて、材料費などに充てたいと思います。市内でもこんな方式のようです。高くても1,000円で考えています。工夫はしていきたいと思います。

このような、活動で高齢者の方に1歩前に出てきてもらいたいと考えて、グループ名も「プラス1」にしました。どうぞよろしくをお願いします。

〈質疑応答〉

委員：構成員は10名ですか？ 団体負担金はどうするのですか？

説明者：メンバーはもっと多いのですが、とりあえずだしました。負担金はメンバーが個人負担します。

委員：足の悪い人とかは、交通面で何か考えていますか。

説明者：前は個人の家でやってたんですが、今度は周囲の歩いてこれる人、または連れてこれる人が誘って連れてきたりします。実施してみて、様子を見たいと思います。車での送迎なんかは考えていません。

委員：女性限定ですか。開催頻度はどれ位ですか。

説明者：限定ではないです。今年は、サロンは2回、カラオケレストランは2回の予定です。

委員：開催のお知らせ方法はどのようなのですか。

説明者：市報配布のときにチラシを全部配ります。他の地区は口コミで広げたいと思います。

委員：良い活動だと思います。メンバーの方の年齢もそれなりに高いので、メンバーの中に若い方も加わっていただければと思います。そうすれば、後継者も育てつつ、長く活動ができるのではと思います。

説明者：このメンバーだけだと、5年もすれば終わってしまいます。その辺のところは頑張りたいと思います。

委員：私の地区でも茶の間事業を始めるので、経験者として今度、うちのメンバーにも教えてもらうということはできますか。

説明者：関係の方から、既に手伝ってくれと言われてもいるので、何かあればメンバーも連れて行きます。

(2) プレゼン終了後の審査会

2団体のプレゼンが終了した後、審査点の採点結果表をもとに意見交換を行い、事業の採択を行った。

審査結果については、採点結果を重視し、基準点の15点以上の2団体の事業を採択した。

【審査結果一覧】 ※順番は申請順

	事業名	事業主体	審査結果
1	沖1市民ファーマーズチャレンジ事業	沖1市民ファーマーズ	採択
2	外出の少ない高齢者に元気になってもらう活動	プラス 1	採択

(3) 「佐伯市人口シュミレーション案」及び「佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略たたき台」について、地域振興の観点からの意見

事務局：「佐伯市人口シュミレーション案」及び「佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略たたき台」について、地域振興の観点からの意見を求めるということで以下の2項目について答申をお願いします。

- (1) 佐伯市人口シュミレーション案について
- (2) 佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略たたき台について

市長からの諮問について説明・・・

審議会資料（別紙）の説明・・・

委員：只今、事務局より説明がありました。中身についてですが、私たちは基本的な考え方はよいと思いますが、その次に具体的に何をどうするかが示されていないので、そこが知りたいところです。基本目標だからしょうがないですかね。

委員：鶴見地区は、病院、行政などの社会的環境はそろっているが、お店が少ない。A コープがもし無くなったらと思うとゾッとします。

委員：観光客が来たときに、よく言われます。「ここにはお店はこれだけですか。」
そうです。お寿司屋さんも、お土産屋さんなんか

委員：人口シュミレーションについてですが、現実にはこんなにはいないはと話しました。この推移も甘くみてるのは。

委員：旧南郡の人口が合併して目立って減ってきた。

委員：現実には、厳しい。ということが皆さんの意見ですね。

委員：そうです。努力を続けなければいけない。

委員：基本目標についてですが、1の中で出産子育てがありますが、結婚が抜けている。
結婚しそうでない人が多い。結婚をできる、促進する取り組みが必要では。

委員：結婚も目標に入れる。結婚しない人は多いですからね。

委員：子育てサロンをしても市内から来たりしていますね。

委員：保育所の待機児童はいるんですか。

委員：佐伯市としては無いそうです。

委員：でも、地域性を無視してて、例えば、こちらの奥さんが本匠の保育所に連れて行ってから、仕事に来るそうです。こうしたミスマッチみたいなのがあるようですね。そうしたことが理由で鶴見から出ていくようになっている。改善が必要では。それで、子供も育てやすくなると思います。きめ細かい配慮が必要。

委員：現代は、給料は昔とあまり変わっていないが、支払うものが増えている。スマホ代やインターネット代、なんかの必要経費が増えている。こんな状況で、子供を産めといってもなかなか産めないですよ。仕事はしたいけど、子供を預けるとこがないんよなという人もいます。所得や待機児童の大元を変えなくてはと思います。きめ細かい配慮や見直しが必要。

子供を産んだら、生活ができない。

委員：千葉に以前住んでいて、市が登録ベビーシッター制度があつて時間幾らで、見てもらうことができました。そういうこともありではと思います。

委員：それこそ、おばあちゃんの出番やな。

委員：そういう制度は良いですね。

委員：2番目は働く場ということですが、

委員：鶴見の場合は水産ですが、加工に力を入れるしかないかなと思います。鶴見から大学に行った人は、帰ってこないでしょ。目標値が高校、大学を卒業したら全員が鶴見に帰ってくるというような値なんですよ。それはちょっと無理かなと思いますね。

委員：農業に比べたら水産業は補助制度が充実していませんよね。

委員：漁業で生きていける地域づくりをしていかないといけない。鶴見では、そういった方針で制度作りをお願いしたい。観光や加工なんかも

委員：今も出ましたが基本目標3の観光等についてはいかがですか。

委員：観光についても環境整備が大事だと思います。県道の整備です。鶴見半島は一本道なので周遊できるような感じでできないものかと思います。

委員：高速道路につながる道路の整備も大切だと思います。交通体系の整備ですね。

・・・委員相互による観光、交通体系についての意見交換・・・高速開通後の動き、観光客単価の低さ、他・・・

委員：移住についてですが、自然に憧れる都会の人はいらっしゃるので、東京だけではなく佐伯市はこんなに良いところだとPRしなければと思います。受け入れる体制も作っていかなければなりません。

委員：そういうことで、人口減少も歯止めになればということですね。

委員：小規模集落を集めて、コンパクトシティの形成を図る国の施策がありますが、大分県は反対と示しました。佐伯市も中心部に人を集めるのではなく、小規模集落でも誇りを持って暮らしていけるような施策を進めるべきだと考えます。

委員：以上の意見をまとめて答申を作成し、会長名で提出したいと思います。
本日はありがとうございました。

4 会議の資料名一覧

- (1) 平成27年度佐伯市活性化チャレンジ事業応募事業一覧
- (2) 平成27年度佐伯市活性化チャレンジ事業計画書
- (3) 平成27年度佐伯市活性化チャレンジ事業募集要項
- (4) 佐伯市活性化チャレンジ事業審査会実施要項
- (5) 佐伯市活性化チャレンジ事業審査評価シート
- (6) 佐伯市活性化チャレンジ事業採点結果表（順位）
- (7) 佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地域振興審議会への諮問書
- (8) 佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る地域振興審議会への諮問について（資料）
- (9) 佐伯市人口シュミレーション案
- (10) 佐伯市まち・ひと・しごと創生総合戦略たたき台

5 問い合わせ先

担当課 佐伯市鶴見振興局 地域振興課 地域振興係
電話番号 33-1111 内線150